KSKP ひょうかれん

平成25年11月1日
No.74

編集人
公益社団法人
兵庫県精神福祉家族会連合会
本條義和

〒651-0062　神戸市中央区坂口通2丁目1-1 兵庫県福祉センター6階 TEL . 078-891-3871 / FAX . 078-891-3872
Eメール　hyokaren@citrus.ocn.ne.jp　ホームページ　http://www.hyokaren.or.jp

KSKP　一九八四年八月二〇日第三種郵便物認可　毎月（一・二・三・四・五・六・七・八の日）発行

兵庫県精神障害者相談員制度の法制化を!!

ひょうかれん会長　本　條　義　和

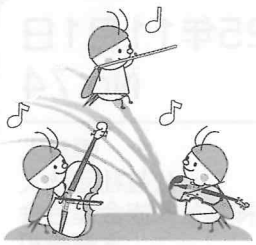
精神保健福祉施策が今大きく変わろうとしています。今年度になってからだけでも、障害者差別解消法が成立し、精神保健福祉法と障害者雇用促進法が改正されました。この改正2法の国会審議において、参考人質疑があり、衆議院厚生労働委員会（6月11日）には、全国精神保健福祉会連合会（みんなねっと）の川崎理事長が、参議院厚生労働委員会（5月30日）には川崎理事長の代理として私が出席しました。両院とも、精神保健福祉法に関する質問が多く出ました。

精神保健福祉法上の保護者制度は、精神病者監護法以来100年以上続いた、精神障害者家族だけに過重な負担を強いるものでした。その廃止によって今まで家族に課せられてきた、治療を受けさせる義務や本人の財産上の利益を保護する義務はなくなりました。しかし、医療保護入院における家族の同意という文言が残ったことは極めて遺憾です。今後、附則に規定された３年後の見直しに向け、一般医療と同様に家族の同意をなくし、本人の権利擁護のシステムができるように声を上げ続けていきたいと思います。

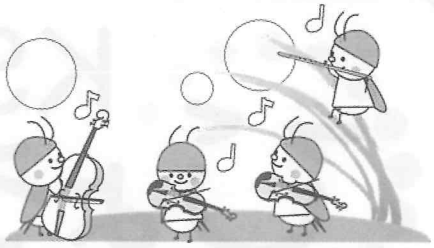
さて、今回の参考人質疑で大変サプライズな質問がありました。それは、恐らく国会史上初めてのことだと思うのですが、「兵庫県精神障害者相談員制度」についての質問でした。

昭和42年身体障害者相談員制度が法制化され、翌43年知的障害者相談員制度が創設されましたが、精神障害者相談員制度は法制化されていません。しかし、日身連理事の竹内正直氏は、「障害者110番の全利用者の40.3パーセントが精神障害」（「精神障害者と家族に役立つ 社会資源ハンドブック」みんなねっと2010.3.20発行）と述べています。精神障害に関する相談のニーズが一番高いのです。8月16日の県会議員精神保健研究会でも制度の早期制定を国に働きかけていただくようにお願いしました。

会員各位はもとより、議会や行政とも連携しながら、法制化に向け努力していきたいと思いますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。



ご報告



県会議員精神保健研究会(県会議員世話人代表)報告!!

平成25年8月16日(金) 16:30～17:15　県庁議員応接室にて県会議員世話人代表(5名)と兵庫県から障害福祉課(4名)、障害支援課(2名)、議会事務局調査課(1名)の計7名とひょうかれんから本條、涌波の2名の合計14名にて精神保健研究会世話人司会のもと議事に従い情報と意見交換がなごやかに開催されました。

議事内容

(1)兵庫県から「平成25年度精神保健関連事業について」報告がありました。
主に　①精神障害者の保健福祉対策　②障害者の就労支援
③障害者のスポーツ・芸術文化活動の推進

(2)意見交換・その他 兵家連から本條会長から「イギリスの訪問型家庭支援」と「参議院厚生労働委員会出席での質疑」の報告とともに全員での相互意見交換　以上

ひょうかれん総会

公益社団法人兵庫県精神福祉家族会連合会として初めてとなる定時総会が6月26日開催されました。定時総会が年1回となったため、平成24年度事業活動報告、平成24年度決算、監査報告、平成25年度・26年度理事監事の選出のほか、すでに理事会で審議済みの平成25年度事業計画や平成25年度収支予算の報告がなされるなど盛りだくさんの内容となりました。

定時総会終了後、本條会長より、イギリスの訪問型家族支援(メリデンファミリープログラム)の視察報告、第183回国会参議院厚生労働委員会における参考人質疑の報告があり、その後意見交換が行われました。

意見交換では、改正精神保健福祉法等法制度に関するもののほか、家族会運営についても、神戸市家族会協議会等から先駆的な事例が述べられるなど活発な意見交換がなされました。

平成25年度・26年度ひょうかれん役員

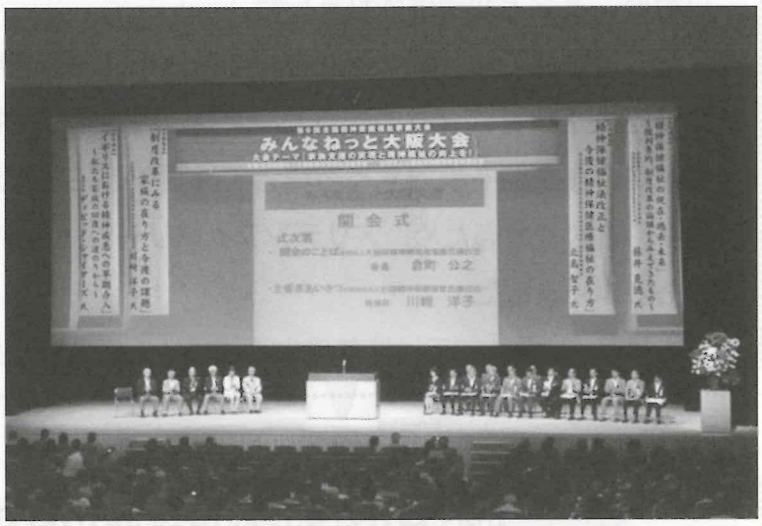
◇会　　長 / 本條 義和　　◇副 会 長 / 涌波 和信・米 靖弘・瀬谷崎 政徳
◇理　　事 / 大倉 正也・久下 弘・上田 修司・河上 紀子・島 サヨミ・細見 辰夫・寺田 隆夫・上垣 迪雄・伊東 久雄・南部 和幸・小松 輝子
◇監　　事 / 山本 勝利・小田垣 章　　◇顧　　問 / 西浦 三郎・藤田 修美

みんなねっと全国大会を大阪府で開催

第６回全国精神保健福祉家族大会（みんなねっと大阪大会）が、9月9（月）、10（火）に西の中心地大阪国際会議場（グランキューブ大阪）に1992名の家族、当事者、関係者が集い、盛大に開催されました。

～家族支援の実現と精神保健福祉の向上を！～を大会テーマに私たちが求める家族支援を実現しているイギリスより、精神科医師をお呼びし特別講演していただきました。「精神疾患への早期介入」が早期回復につながり、さらに「貧弱なケアが良いケアよりも高くつく」ことを学びました。

最後に大会宣言で、わが国における「家族支援」の実現と更なる精神医療の改善・向上への努力を誓い合い、成功裏に閉会しました。



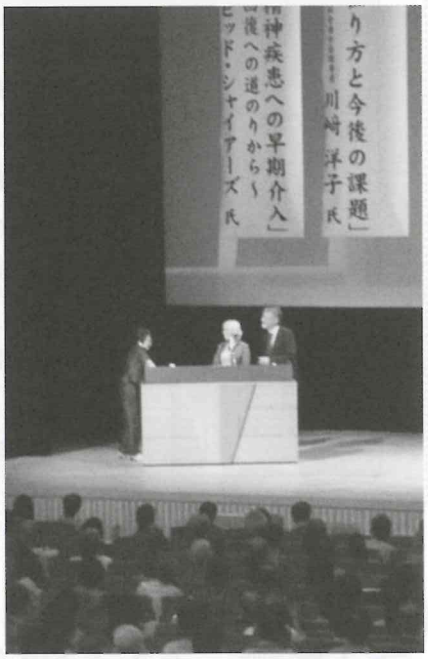
１日目は、開会式に引き続き

●特別講演　テーマ：「イギリスにおける精神疾患への早期介入」～私たち家族の回復への道のりから～
　講　師：精神科医師デイビット・シャイアーズ氏（英国統合失調症監査会臨床顧問）

「私たちの娘メアリーは統合失調症にかかり、急性期における６ヶ月間の辛い入院の後、リハビリテーション施設に２年間入所しました。この期間は彼女にとって何ら治療や回復に向かうものではなく、私たち夫婦には失望以外の何ものでもありませんでした。このことが私に国家早期支援開発プログラムに関わるきっかけとなり・・・」

（デイビット・シャイアーズさんのレジメより）

●活動報告　みんなねっと理事長 川崎洋子氏
●行政報告　厚生労働省
●基調講演　テーマ：「精神保健福祉の現在・過去・未来」
　～権利条約、制度改革の論議からみえてきたもの～
　講　師：日本障害フォーラム幹事会議長　藤井克徳氏



２日目は、７分科会に分かれて研修、特別講演が行われました。

●第１分科会　家族の力、家族会の力
●第２分科会　私たちが求める家族支援
●第３分科会　早期支援と教育
●第４分科会　地域の暮らしを考える
●第５分科会　当事者活動
●第６分科会　就労を考える
●第７分科会　特別講演　テーマ：「単一精神病論」
　講　師：菊山裕貴氏

みんなねっと理事会・総会開催される

平成25年度第1回理事会及び定期総会が開催されました。

財政状況が非常に厳しい状況が続いていることから、各県連で賛助会員の加入促進に取り組むことなどが議論されました。

又、運動面では、精神保健福祉法の改正、障害者雇用法の改正、障害者差別解消法の成立など大きな変化があるなかで、より一層精神保健福祉施策を向上させていくために、組織運動の諸課題を検討する委員会を設置することが決まりました。訪問による家族支援を日本で根付かせるため、メリデンファミリーワークから講師を招きフォーラムを開催することも決まりました。

さらに、役員体制では昨年度末事務局を退職された良田かおり氏が理事に選出されました。

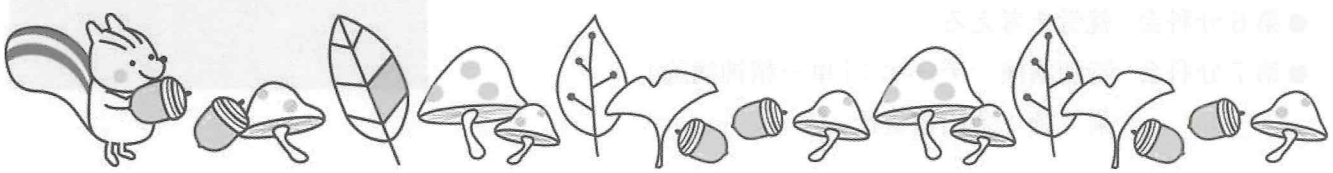
平成25年度ひょうかれん精神保健福祉講座

(社)兵庫県精神科病院協会助成事業として、県福祉センターにて本年10月から平成26年2月までの月1回、計5回のひょうかれん精神保健福祉講座を開催致します。

会員の皆さまはもとより、関係者の皆さまにお声掛けいただきお誘い合わせの上、多数ご参加下さいますようお願い申し上げます。

※開催会場はいずれも兵庫県福祉センター1階（多目的ホール）になります。

	日　時	内　容（＊予定）	講　師
第1回	平成25年10月11日(金) 13:30～15:30	社会保障（障害年金）	山田和博社労士
第2回	平成25年11月11日(月) 13:30～15:30	障害者就労について	社会福祉法人すいせい 指導員
第3回	平成25年12月(未定) 13:30～15:30	＊こころの健康教育	未　定
第4回	平成26年1月(未定) 13:30～15:30	＊当事者支援	未　定
第5回	平成26年2月(未定) 13:30～15:30	＊イギリスの家族支援	未　定



TOPICS 兵庫県下各地・各家族会より（1）

法人・施設より

すいせいの就労支援システム

社会福祉法人すいせい理事長 伊　藤　柳　子

作業所時代、「ある利用者の方から、30歳超えて時給100円とは情けない。」と、職員に向けて抗議がありました。その一件から職員は工賃アップに向けて利用者の方々と話し合い検討し、以下の事を取り決めました。

1．受けた作業については、全員で責任を担う事。
2．利用者の方々は健康管理を大切にし、継続通所を目標にする。
3．受注した商品は、納期を厳守する。（事前準備を 怠らない。）
4．受けた商品から、クレームを出さない。
5．良い仕事で、企業と対等の意識を持ち賃金確保をする。

16年後の現在、全職員で作業受注の拡大に努力し、生活リズムを回復した利用者の方々も平均出勤率90％を維持し、目標の工賃アップと健康回復を手にしています。地域活動支援センター、就労継続支援事業B型、就労移行支援２事業（工場ライン作業・事務系）を利用し、ステップアップシステムで、様々な就職に至っています。今年度は4月から7月迄で13名の方が就職しています。又、定着率もジョブコーチ等の配置により90％と高い数字になっています。

阪神地区

地域との共生をめざして

宝塚家族会 会長 渋　谷　　進

私たちの関係法人として、NPO法人コスモス（理事長 二宮満雄）がありますが、その中に、“Lemon Tree”という喫茶店舗型の地域活動支援センターと、“たこ焼き幸じん”という、たこ焼き屋と手づくりショップをやっている地域活動支援センターがあります。

先ず、“Lemon Tree”は平成 15 年開設で、飲み物と軽食を出している他に、商店街の有志によるミニコンサートや絵画や手づくり品の展示会もし、職員や利用者が民・児協の例会で話をしたりしたお陰で多くの民生委員が店を利用され、地域の祭などに出店もします。商店会と市の商工会議所にも入会しています。

“たこ焼き幸じん”は平成 18 年の開店。阪急清荒神駅前の市場入口の角店です。利用者の人が焼くたこ焼きが好評です。

併設の手づくりショップには、宝塚、西宮、三田、川西などから多くの方が出品。自ら店頭で販売促進をしている出品者もあります。市場の商店会と参道商店会に入会、月例会や総会にも出席します。商店主の方々から、角店の幸じんのがんばりで、清荒神市場に少しずつ活気がでてきたと喜ばれています。夏祭りなどのイベントに呼んでいただけるようになり、正月 3 が日にも開店するよう求められています。

TOPICS 兵庫県下各地・各家族会より(2)

神戸地区

NPO法人「ハートinハートなんぐん市場」見学記

木の芽家族会「よろず勉強会」世話人 梶　山　孝　子

「よろず勉強会」？ 毎月の定例会には参加しているけど、沢山の参加者の前では話しづらい、悩み困りごとが話し合えないで困っている者同志２人集まれば話し合えると言うテーマ無しの井戸端会議的で、なんでも有り、お互いが安心して自由に話し合う、そんな会が「よろず勉強会」です。

①秘密を守る　②発言内容を批判否定しない　③話を独占しない　④発言を強要しない

４つの約束で今あるそれぞれの悩み困りごとを交換しています。

その会合の中でお互いに共通する医療費・年金・就労・自立・地域支援者等の課題の中で話し合いだけではなく困っていることを具体化しようと声が上がった時、兵家連の情報で知った「淡路精神保健福祉大会」に参加、その中で御荘病院 長野院長の講演「地域づくりを障害者と共に!」を拝聴したことを伝え、今回の施設見学となりました。

山と海に囲まれ自然いっぱいの愛南町の人口は24000人その中の1800人の町民が直接支援者となり地域と共に高齢者や障がいを持つ人達が町の一員として働き暮らせる町づくりを実践されており、御荘病院の入院患者80人の殆んどが、地域の方で院長の目標はこれを０にして地域の一員に戻すことだそうです。農業従事者としての厳しい指導の中には社会人としての躾、又落伍しそうな時には当事者同士で励まし合う力も芽生え、スタッフ間では少しの変化も見逃さない情報交換により厳しい指導の中にあっても一人の落伍者も出さない支援がなされていました。メンバーさんは温泉施設（A型）での午前中勤務の収入と障害年金で生活を維持しておられ、将来の目標も語ってくれました。

この度は移住も真剣に考えて参加された方もある中、思いを共有する家族の方々と共に親亡き後を見据え、困り事の一つでも願いが叶うように先輩方のご協力を頂きながら活動を進めたいと考えています。

ひょうかれん
賛助会員
募集

あなたのご支援で、ひょうかれんは運営されています！

年会費　団体の場合１口　10,000円
個人の場合１口　3,000円
一口以上、何口でも結構です

振込先　郵便振替 01110-4-83568 兵家連

当事者の声

「地域移行とピアサポート」

淡路障害者生活支援センター
ピアサポーター 前　田　幹　夫

最初にピアサポーターのピアとは、精神科受診の病的体験を持つ者同士の関係です。

精神科病院には、数十年以上病状が安定している入院患者さんが非常に多くいます。「入院治療中心から地域生活中心へ」という考え方で『地域移行』という退院支援が自立支援法上で始まりました。病院から地域へ、非常に簡単な考え方です。

淡路島では、３年ほど前から地域移行という制度を利用する時、ピアサポーターが患者さんの退院のお手伝いをする活動が始まりました。なぜピアなのかというと、それらの患者さんは退院出来ない事情が有り、ピアとしてそれらの問題点を同じ視点で考え退院後の生活まで応援していけるからです。それが淡路島ピア活動の良い点です。

ピアサポーターをやってみて、担当の患者さんへの援助が上手くいくと私も服薬帳をまねて家計簿を付けるようになりました。おかげでギャンブルが止められました。

ピアサポーターが退院された担当の患者さんと今困っている医師に言えない事やその日の調子などを受診前にきちんと細かく聴き、診察の練習をし、主治医に上手く説明できるようお手伝いをします。皆さん驚くでしょうが、家族のいない人などは退院後慣れないうちは一緒に部屋に入り診察を一緒に受けることもあります。

ピアサポーターとして自分の支援の面での嬉しさや、やり甲斐は、例えばその地区の民生委員さんと繋がり、老人会に参加でき生活の張り合いになっている患者さんが居る事です。

また、別の事例ですが、病院関係者は「一週間のアパート生活で失敗する」と言っていましたが、ピアを使って一年以上、上手に生活し、この後も続いていきそうです。途中、定着支援で夜中は支援者に受診同行してもらうなど色々な事が有りました。本人がＳＯＳを出せるようになり夜間の支援体制も出来た事やピアサポーターによる仲間同士の支え合いで地域生活を続けている人を見ると、ピア活動が出来て嬉しいです。

P R

～地域住民との連携をとりながら
親身になってサポートいたします～

地域活動
支援センターⅢ型
✧みなみまちげんき
授産品作り
パソコン利用

共同生活援助
（グループホーム）
✧ハイツノバ田寺
✧ハイツノバ伊伝居

就労支援Ｂ型作業所
✧作業所はりまっ子
✧書写作業所
✧ワークスノバ田寺
✧しらさぎ作業所
✧なごみ
✧作業所はりまっ子
山崎店

ＮＰＯ法人はりま福祉会

経営理念の三原則

一．　利用者本位の運営
二．　役職員と利用者の共生・共用
三．　利用者への合理的配慮

自立のための支援をいたします
アットホームな雰囲気です

ご相談・お問い合わせ
● TEL 079-224-0185
● FAX 079-224-0189
● Mail ／npoharima@star.ocn.ne.jp
NPO 法人はりま福祉会
姫路市野里上野町 1-1-6

家族の声

「現場の精神科医療に望む」

ほのぼの会 会長 伊 東 久 雄

涙をのんで精神科病院に当事者を入院させて、初めて保護室に入れられた我が子を見て驚き、いたたまれぬ気持で悩む経験をした家族は少なくないだろう。トイレとベッドしかないごく狭い部屋に施錠される。「犯罪をおかしていないのに囚人以下に扱われた」「騙され閉じ込められた気持ちがわかるか」と本人の尊厳が打ち砕かれた体験のトラウマで何年たっても恨まれ続けられる。病による危険があるとき隔離する必要もわかるが、カーテン、花などが飾られ寛げる快適な空間がなぜ用意されないのか。また、権利擁護の退院要求の申請はほとんど通らない。

精神科病院は少しずつ改善されてきても、精神科以外の病棟に比し時にテレビ・冷蔵庫なし等の設備が見劣りした病室で、日常が管理された入院生活を強いられ、医療保護入院で同意した家族の多くは治療の必要と本人の自由のない生活との軋轢の板挟みに苦しむだろう。この制度の患者は精神科入院患者の4割強約13万人、その6割以上が1年以上。患者の基本的権利＝身体の自由を制限する保護制度は国際的な非常識として批判されている。「過剰収容は人権侵害」のクラーク勧告から45年、変わらない「収容」と当事者を抱える家族支援と地域の問題なのだ。

また、浪費で金銭管理が危ぶまれ将来の不安を抱く家族は医師から「それは投資と思え」といわれた。ブラックジョークか。喫煙習慣で合併症の心配に「喫煙は気晴らしになる」と取り合わない。一例だが、「こころの病」と向き合う精神科医がなぜ患者の人間性・生活、家族の悩みに寄り添おうとしないのだろうか、精神科特例等の背景があっても何とかならないのか。イギリスでは家族は医局会議にも参加できると聞くが、病や治療等から生活を縛られる当事者や家族など、精神科医療機関の利用者が大きく声を上げられる仕組み、対策を望んでやまない。

[投稿歓迎　何でも気軽に寄せてください　編集委員]

P R

食物繊維たっぷり
もちむぎスウィーツで便秘を改善するなら
今でしょ!!
お子様のおやつに
福崎産もちむぎ使用!
NPO法人 中播磨峰の会 峰の会作業所
福崎町西田原1399-1　井上ビル1F
0790-22-7537

社会福祉法人すいせい
〒655-0024　神戸市垂水区御霊町6−10
総合受付　TEL　：078−704−3060
Email：sfsuisei@zeus.eonet.ne.jp
通所事業
■地域活動支援センター　ハーモニー垂水　（生活リズム、体調を整える）
■就労継続支援B型事業　ワークス垂水　（短時間就労を目標に支援）
■就労移行支援事業　フレンドリー垂水　（一般就労を目標に工場内作業で技術取得）
■就労移行支援事業 CASTビジネスアカデミー　（一般就労を目標にPC利用事務関連に特化）
相談事業（神戸市委託相談業務・補助業務）
■たるみみなみ障害者地域生活支援センター　（障害福祉サービスの利用案内や生活相談）
■神戸市西部地域障害者就労推進センター　（就労支援、職場定着支援、企業開拓等）
■神戸市発達障害者西部相談窓口　（大人の発達障害者の地域生活の支援）

H24年度 兵庫県精神障害者相談員 相談実績

兵庫県では、精神障害者の保健福祉等に関し、当事者又は家族等が身近な立場で相談支援を行う精神障害者相談員（H24年度は320名）が全市町に配置されています。

平成24年度の相談実績等は次のとおりです。

❶ 圏域ごとの相談員数、相談対応件数について

圏　域	相談員数	相談対応件数	相談対応以外（会議・行事等への参加）	合　計
神戸・阪神	113	2,316	591	2,907
東播磨	45	2,117	132	2,249
北播磨	31	2,567	788	3,355
中播磨	50	1,835	101	1,936
西播磨	30	1,698	511	2,209
但馬	23	473	241	714
丹波	11	233	54	287
淡路	17	623	216	839
合　計	320	11,862	2,634	14,496

❷ 相談者の内訳

本　人	7,864
家　族	3,302
その他	696

❸ 相談内容（件数）

家族・家庭関連	4,166
法律関連	153
経済関連	568
生活関連	2,328
福祉サービス関連	1,060
社会復帰・参加関連	1,698
健康・医療関連	1,889
合　計	11,862

精神科救急窓口のご案内

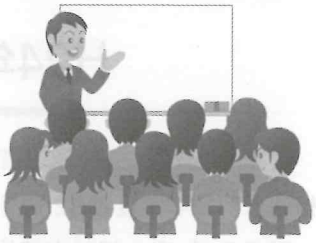
精神科救急情報センター

電話番号 078 - 367 -7210

平　　日：午後５時～翌日 午前９時
土・休日：午前９時～翌日 午前９時
（平日昼間は健康福祉事務所へ）

◆ご利用の際は、氏名・住所・連絡先を対応職員に告げてください◆

研修会・家族教室



平成25年度精神保健福祉研修会日程（実績・予定）

開催地区	開催日	開催場所	担当家族会
中・西播磨地区	平成25年12月13日(金)	相生市総合福祉会館	元気アップみのり家族会
丹波・北播磨地区	平成25年12月11日(水)	丹南健康福祉センター	みちくさ家族会
阪神地区	平成26年2月16日(日)	芦屋市福祉センター	芦屋家族会
但馬地区	平成25年11月21日(木)	新温泉町夢ホール	のぎく家族会
東播磨・淡路地区	未定	未定	明石ともしび家族会

平成25年度新規発症患者家族教室日程（実績・予定）

地区名	開催予定日	時間	開催場所	担当家族会
但馬地区	25年7月25日(木)	13:20~16:20	和田山ジュピターホール	なんたんひまわり家族会
丹有地区	26年2月22日(土)	13:50~16:30	三田市総合福祉保健センター	にじの会
阪神南地区	25年10月19日(土)	13:30~15:30	尼崎市立すこやかプラザ	あまかれん
	26年1月18日(土)	13:30~15:30	芦屋市保健福祉センター	芦屋家族会
阪神北地区	25年12月14日(土)	13:50~15:30	伊丹市図書館ことば蔵	伊丹あじさいの会
	26年2月15日(土)	13:30~15:30	宝塚市立 男女共同参画センター・エル	宝塚家族会
東播・淡路地区	25年12月4日(水)	13:30~15:30	淡路市防災あんしんセンター	いきいき家族会
西播地区	25年10月11日(金)	13:30~16:00	宍粟市役所北庁舎	宍粟すぎの木家族会
姫路地区	26年1月20日(月)	13:30~15:30	姫路市保健所	NPO法人えんじぇる会
北・中播地区	26年3月	13:30~16:00	未定	NPO法人中播磨峰の会
神戸地区	25年12月8日(日)	13:15~16:30	神戸市勤労会館	木の芽家族会

電話相談 Q&A

電話相談室担当ＰＳＷ

【息子が引きこもりがちです】

今回もご相談いただいたご家族からの事例を取り上げたいと思います。
なお、秘密厳守の立場から内容は若干変更させていただいております。

質問

相談者：当事者の母50代

20代の息子のことで相談です。昨年初めて入院し、この春に退院しました。退院後デイケアに通いましたが、年配の方が多く、年齢層が合わないと数回で通うのをやめてしまいました。それ以来家で引きこもりがちです。紹介され作業所も一ヶ所見学しましたが、気に入らなかったようで、もう他を見に行こうともしません。家族も本人も不安が強く、行き詰っています。

回答

なかなか先行きが見えず、お辛い状況かと思います。

デイケア、作業所に行かれたとのことですが、通所施設には様々な種類があります（生活訓練、地域活動支援センター、就労支援…）があります。何より一ヶ所一ヶ所、人も違えば、雰囲気も全然違います。今回行かれた所はたまたま合わなかったようですが、ご本人に合う所も見つかるかもしれません。

また、施設ではありませんが自助グループというものもあります。病気を経験した当事者による自主的な集まりで、茶話会やスポーツ、勉強会など、様々な活動があります。他にも、人によっては福祉関係にとどまらず、例えば一般の若者をサポートしてくれるような場に通われている方もおられますし、地域のスポーツクラブや趣味の集まりに参加されている方もおられます。

しかし、それでもまだ息子さんにとって外に出るのが難しい時期なのかもしれませんね。そうした場合でも、例えば訪問看護を利用するなどし、家族だけで閉じこもらずに家族以外の人にも関わってもらいながら一緒に相談してやっていくという道もあります。

人生の歩み方は様々です。ご本人のペースで、確かな一歩を歩んでいければいいですね。回復にとって何より大切なのは「つながりの回復」だと思います。使える資源は様々ありますので、上手く使いながら、人や社会とのつながりを回復していっていただければと思います。社会資源についてはお近くの相談支援事業所や通院先のソーシャルワーカーなどにご相談下さい。

お気軽にご相談ください

ひょうかれん電話相談

TEL.078-891-3886（ハロー）

土・日・祝日を除く平日10:00～12:00、13:00～15:00

病気の事や経済的なこと、くらしの悩み、福祉制度（手帳・年金・他）利用の手続きなどについて、県から相談員として委嘱された家族会員や精神保健福祉士などが相談に応じます。ぜひご利用ください。

ひょうかれん活動日誌

役員の動き

5月

12 木の芽家族会総会（講師）〈御影クラブ〉（本條）
17 会計監査〈兵家連事務所〉（本條・山本・古岡）
18 第40回芦屋AMSKセミナー〈芦屋メンタルサポートセンター〉（本條）
21 県功労賞（福祉功労者）授賞式〈県公館〉（涌波）
23 兵庫県障害者スポーツ協会第4回理事会〈兵庫県民会館〉（涌波）
25 第7回県のじぎくスポーツ大会〈県立三木総合防災公園〉（上田）
26 ほのぼの会家族会（講師）〈三木市総合福祉センター〉（本條）
27 国会参考人質疑の打ち合わせ〈みんなねっと事務局〉（本條）
28 明石ともしび会総会〈明石生涯学習センター〉（本條）
29 平成25年度第1回理事会開催〈県福祉センター〉（理事・監事・顧問）
すいせい後援会（旧）世話係様3名来所〈兵家連事務所〉（本條）
30 参議院厚生労働委員会（国会で参考人として意見表明）〈参議院〉（本條）

6月

5 みんなねっと三役会議〈みんなねっと事務局〉（本條）
6 みんなねっと理事会・定期総会〈東京セミナー学院〉（本條・涌波）
7 みんなねっと会長・事務局会議〈東京セミナー学院〉（本條）
8 県立光風病院児童思春期センター「ひかりの森」開設記念式典・内覧会〈県立光風病院〉（本條）
10 第8回きょうだいかい〈県福祉センター〉（本條）
14 第1回県障害者雇用・就業支援ネットワーク会議〈県中央労働センター〉（涌波）
23 平成25年度尼家連総会〈尼崎市立中央公民館〉（本條）
24 国際障害者交流センター（ビッグ・アイ）運営協議会〈泉ヶ丘センタービル〉（本條）
26 平成25年6月（24年度決算）総会開催〈県福祉センター〉（家族会会長・兵家連役員）
27 井戸知事を励ます会のつどい〈国際ホール〉（三役他13名）
28 兵庫県障害者スポーツ協会第2回評議員会〈兵庫県民会館〉（本條）
すいせい家族会例会〈社会福祉法人すいせい法人本部〉（本條・涌波）

7月

2 神戸女子大学健康福祉学部健康福祉学科精神保健福祉コース（講師派遣）〈神戸女子大学ポートアイランドキャンパス〉（渡邊）
平成25年度ひょうかれん電話相談員研修（顔合わせ）〈県福祉センター〉（藤田修美）
3 県社協第1回権利擁護部会〈県福祉センター〉（本條）
新規発症患者家族教室実行委員会〈県福祉センター〉（米）
第9回兵庫県障害者芸術・文化祭実行委員会〈兵庫県職員会館〉（涌波）
6 加古家連総会（講演）〈加古川市福祉会館〉（本條）
11 第4回みんなねっと大阪大会実行委員会WG会議〈アネックスパル法円坂〉（本條）
16 新生兵庫大政談演説会〈神戸国際会館こくさいホール〉（本條・涌波）
17 「家族会運営のてびき」編集委員会〈みんなねっと事務所〉（本條）
18 厚生労働省社会保障審議会〈都道府県会館（東京）〉（本條）
23 会誌「ひょうかれんNo.74」編集会議開催〈県福祉センター〉（本條・涌波・米・久下・伊東）
25 家教但馬地区（朝来市）講師：藤田修美〈和田山ジュピターホール〉（なんたんひまわり家族会）
31 宍粟市長と面談〈宍粟市役所〉（本條）

8月

1 みんなねっと組織運動委員会〈みんなねっと事務局〉（本條）
6 県精神保健福祉協会総会・講演会〈県こころのケアセンター〉（本條）
8 中・西播磨地区精神保健福祉研修会実行委員会〈相生市総合福祉会館〉（本條）
16 県議会議員精神保健研究会〈県庁3号館〉（本條・涌波）
19・20 南高愛隣会視察〈長崎県雲仙市・諫早市〉（本條）
21 運営監視合議体会議〈県福祉センター〉（瀬谷崎）
23 家族教室神戸地区打合せ〈県福祉センター〉（本條・涌波）
26 共産党県政懇談会〈県民会館〉（本條・涌波）
28 「家族会運営のてびき」編集委員会〈みんなねっと事務所〉（本條）
30 「ストップ・ザ・無縁社会」推進協議会総会・講演会〈県公館〉（本條）

※三役会議・家族会部会開催（6/12・8/7　県福祉センター　本條・涌波・米・瀬谷崎・大倉・河上）

編集後記

先日、民生委員さんと知的･精神の当事者･家族会代表とのグループ意見交換会があり、私は「統合失調症とは何か」を時間をいただき話しました。初めての試みだったので完全に理解していただくのにはもっと時間・回数が必要だと感じました。（久下　弘）

編集委員／本條・涌波・米・久下・坂井・伊東・梶山

発行人＝関西障害者定期刊行物協会／大阪市天王寺区真田山町2-2 東興ビル4F
KSKP
一九八四年八月二〇日第三種郵便物認可　毎月（一・二・三・四・五・六・七・八の日）発行　定価＝五十円